産業医科大学図書館

猿渡 明博*

産業医科大学図書館

I. はじめに

2005年度より加盟しました産業医科大学図書館です。産業医科大学は昭和53年に、産業医学の振興と優れた産業医の養成を図ることを目的として、工業地帯であった北九州市に設置されました。

本学の組織は、一般的な医科大学にある医学部、大学院に併せ、産業保健学部、産業生態科学研究所、産業医実務研修センター及び産業医学情報教育施設等いずれも本学を特徴づけ、国の内外を通じて他大学に類を見ない組織体です。

大学2号館全景（図書館、講義室等があります）

産業医学情報教育施設は、より一層の教育・研究効果が得られるように図書館、視聴覚教育センター及び情報管理部の有機的な連携のもとに組織された教育・研究情報施設です。

視聴覚教育センターは、手術室における臨床実習のためのテレビ中継やビデオ教材等作成のための収録・編集を行うとともにマルチメディアを利用した視聴覚教育への技術支援等を行っています。

情報管理部は、インテリジェント・キャンパスの構築

を目標に、学内ネットワークの整備、インターネットへの接続及びセキュリティ対策のためのウイルス情報等の提供、情報技術の発展に対応した大学の教育・研究・診療への支援に加え、学外への産業医学情報の提供を行っています。

次に一部門である図書館について説明します。

II. 図書館の概要

図書館は、大学講座の研究棟と大学病院の中間にある大学本館2号館の1階に位置しています。総床面積は2,480 m²で、閲覧、視聴覚室、情報端末等のサービススペースとして2,150 m²（開架書庫1,000 m²を含む）、事務スペースは330 m²です。

蔵書数は、約11万8千冊で、医学、看護学領域及び、本学の特色である産業医学関連領域の専門書を所蔵しています。蔵書のうち和書が約7万5千冊、洋書が約4万3千冊です。雑誌は、和雑誌を2,408タイトル、洋雑誌を1,083タイトル所蔵しています。

産業医学関連資料については、「産業医学関連資料コーナー」「産業医学新着図書コーナー」「卒業生産業医図書コーナー」を設け、図書1,247冊（和書892冊、洋書355冊）、雑誌81誌（和雑誌36誌、洋雑誌45誌）、視聴覚資料22点（和17点、洋5点）を所蔵しています。

産業医学関連資料

*Akihiro SARUWATARI : 〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区
医学生ヶ丘1番1号。 (2006年9月27日 受理)

書架は全館開架方式になっており、利用者は自由に本を手に取り利用することができます。

図書館の附属施設として、講座のゼミナールや学外講師等の講演などに利用できる視聴覚室、ビデオ教材を利用した学習または学生の少人数単位の討議やグループ学習などに利用できるグループ学習室（LL 室）を整備しています。

Ⅲ. 利用者サービス

開館時間は、利用者からの要望もあり、徐々に開館時間が延長され、現在は、平日が9時から22時まで、土曜日が9時から18時までとなっています。また、年2回の定期試験期間中は、土曜日を22時まで延長し、日祝日も9時から22時まで開館しています。

閲覧室内のサービススペースには、医学情報等検索のための情報端末機16台を設置した情報コーナー、ビデオ・DVDの視聴ができる視聴覚コーナー（6席）があります。また、利用者が持参したコンピュータでインターネットによる情報収集や電子メールができる情報コンセントを備えています。

図書館ホームページ（①SALY OPAC, ②電子ジャーナル, ③医学情報検索, ④産業医学新着情報, ⑤CD-ROM 紹介, ⑥医学情報リンク集, ⑦今月のトピックス, ⑧ベストリーダー等を掲載）を開設し、最新情報を発信しています。

その他のサービスとして、相互貸借、文献複写及び学生や教職員を対象とした文献検索講習会を行っています。

本学では医学部を巣立った卒業生に対し、産業医に必要な実践的教育を行うための産業医学卒後修練課程を設

け、卒業生各人の将来の進路に応じた研修が行われています。図書館ホームページの中に卒業生サービスの窓口を設け、卒業生に対しても産業医学図書新着情報、文献検索、医学情報検索及び文献複写等のサービスを行い、卒業生の生涯教育の支援を行っています。

学外者へのサービスとして、一定の条件のもとに他大学の学生、医療関係者やその他調査・研究を目的とした方々にも公開し、図書館資料等が利用できるよう便宜を図っています。

Ⅳ. 今後の課題

緊要性のある課題としては、洋雑誌の購読契約に関する問題があります。他の加盟館の紹介文でも予算及びタイトル数の確保等に苦慮されている様子を拝見します。本館も購入価格の高騰に反し予算が厳しくなる状況の中、2006年版より極力電子ジャーナルへの購入形態の変更（購読237タイトル中186タイトルが電子ジャーナルのみ）及びコンソーシアム参加等によりタイトル数の維持に努めているのが現状です。学内での経費負担のあり方、コアタイトルの選定及び購入形態・方法等、検討すべき問題は多々ありますが、この協会に加盟させていただいていることを有効に利用させていただき、折あれば他の加盟館の対応策等をご教授願いたいと思います。

Ⅴ. おわりに

最後に、本館は医学図書館としての医学情報発信に留まらず、産業医学関連情報の発信源ともなるため、図書館資料並びに情報環境を整え、効果的な運用が行えるよう協力していきたいと思います。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。